



道徳教育の各学年目標

本校は、今年度から2年間、文部科学省より道徳教育の抜本的改善・充実に関わる支援事業の指定を受けることになりました。

もうすでに2学期の半分が過ぎてしまいましたが、実は年度当初から、私たち教師は道徳教育を推進していく上での重点目標や各学年の目標を検討してきました。先日ようやく各学年の目標が決まりました。以下の通りです。

- 1 学年
 - ① できること、できないことを理解し、自分の良さを伸ばす努力をする。
 - ② 多様な他者を認めて、思いやりの心を大切にし、よりよい人間関係を築く。

- 2 学年
 - ① 今なすべきことは何かを考え、行動し、自主自立の精神を身につけることで、自信を持って集団の中での自己の役割を果たす。
 - ② 社会参画や勤労意識を高め、社会規範・規律の大切さを学ぶ。

- 3 学年
 - ① 玉高チャレンジプランの活動をとおして身につけた力を発揮して課題解決に取り組む。
 - ② 社会を支える一員としての自覚を持ち、社会貢献と自らの幸せを考えられる人になる。

いかがでしょうか。これらは「〇〇をしなさい」とか「〇〇をしてはいけません」とうものではありません。生徒が自ら考え、気づいて行動する姿を示しています。生徒一人ひとりと、各ご家庭、学校が同じ目標をめざしていくことで、生徒が「璞玉から珠玉へ」と変わることを期待しています。

高校における道徳教育とは？

今後は道徳教育についての取り組みが本校で活性化していきます。

「高校での道徳って何するの？」と思われることでしょうか。高校で「道徳」の授業はありませんが、実はこれまでも教育活動全体を通じて行われてきました。それは今後も変わりませんが、今までよりも見える形にしていきたいと思います。



「規則正しい生活をする」「礼儀を大切にする」「差別しないで誰に対しても公平に接する」「環境に気を配る」など、社会で一人一人がよりよく生きるために必要な道徳性は、授業や学校行事等の場で育まれます。

基本は校訓

道徳的に見ると、校訓「誠実・勇気・奉仕」にはどんな意味があるのでしょうか。以下のようにまとめてみました。校訓の実践ができれば、おのずと、一人ひとりの道徳性を育むことができると思います。

ぜひ、校訓の意味を考え、行動につなげてください。

- 誠実： 純粋な心でまじめに努力 → 他者に信頼されることにつながる
- 勇気： 強い意志に支えられた実行力 → 次の行動を起こすきっかけになる
- 奉仕： 感謝と思いやりの行為 → 人を助けることにつながる



これまでの道徳教育に関わる主な行事

行事をとおして、自分自身、他者、集団・社会、自然などに関わることを学んでいます。それぞれの行事がどのような道徳性を育んでいるか、生徒の皆さんは考え、つぎの行動に活かしてください。

4月	新入生キャンプ(1年) 先輩からのアドバイス
6月	璞玉祭 璞玉祭の振り返り活動(LHR) 花いっぱい運動
7月	卒業生を囲む会 玉村ふるさとまつり 道徳教育アンケート
8月	就職模擬面接(3年)
9月	就職・進学模擬面接(3年) インターンシップキックオフ講座(2年) 性教育 講演会 球技大会
10月	開校記念式典(記念講演) 球技大会の振り返り活動(LHR) 読み物「車いすの少女」アンケート インターンシップ(2年)



9.17 インターンシップ
キックオフ講座



9.26 球技大会



10.1 開校記念講演会